CHO-FCGR2B

305982

□要

□明

□責事項：細胞株の表示価格は、学術機関および非営利団体のお客様のみを対象としています。営利団体のお客様の場合、価格は約6,250ユーロとなります。
営利団体に所属されている場合、またはどちらのカテゴリーに該当するかご不明な場合は、
弊社までお問い合わせください。

CHO-FCGR2B細胞は、□疫グロブリンG（IgG）のFc領域に対する低親和性抑制受容体であるヒトFcガンマ受容体IIB（FcγRIIB；FCGR2B/CD32B）を安定発現するように改変された組換えチャイニーズハムスター卵巣（CHO）細胞です。 FcγRIIBは、B細胞、樹状細胞、単球、マクロファージ、およびその他の□疫細胞集団に広く発現しており、そこで□疫活性化の重要な負の調節因子として機能します。活性化受容体との共刺激を受けると、FcγRIIBはその□疫受容体チロシンベース阻害モチーフ（ITIM）を介してホスファターゼを動員し、それによって抗体介在性□疫応答に関与する下流のシグナル伝達経路を抑制します。 FcγRIIBシグナル伝達の調節異常は、自己□疫疾患、慢性炎症、および抗体治療薬に対する反応の変化に関与していることが示唆されている。

CHO-FCGR2B細胞は、Fcを介した相互作用、受容体選択性、および抑制シグナル伝達メカニズムを評価するために、治療用抗体開発や □疫学研究で広く使用されています。これらの細胞は、IgGサブクラスの結合、Fc改変戦略、□疫複合体の相互作用、およびFcγ受容体経路の抗体依存性調節に関する定量的評価を可能にします。 これらは、モノクローナル抗体、二重特異性抗体、Fc融合タンパク質、およびFcγRIIBとの結合を変化させるように設計された糖鎖改変バイオロジクスのスクリーニングにおいて特に有用です。CHO-FCGR2Bモデルはまた、Fc受容体の特異性と機能的活性を特徴づけることを目的とした、フローサイトメトリーアッセイ、受容体占有率研究、レポーターアッセイ、およびハイスループットスクリーニングプラットフォームにも頻繁に適用されています。

ティッシュ	卵巣
病気	チャイニーズハムスター卵巣細胞、非腫瘍性； FcγRIIB（CD32B/FCGR2B）の表面発現を目的とした遺伝子改変細胞

用途

抗体のFc領域改変；抑制性Fc受容体の研究；ADCPの研究；□疫療法の開発；フローサイトメトリー

分類

生物	チャイニーズハムスター
セックス	女性
成長特性	付着状態および浮遊状態
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This CHO cell line contains an FCGR2B expression cassette supporting receptor-function analyses. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	卵巣の上皮細胞
倍増時間	約14～16時間

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

CHO-FCGR2B（Cytion カタログ番号 305982）

NCBI 納税者番号	10029
セロサウルス	CVCL_A8W4

発現と感受性

発現している受容体

FCGR2B/CD32B

取り扱いと飼育

培地

接着培養用DMEM:Ham's F12 (1:1)＋3.1 g/L グルコース、2.5 mM L-グルタミン、15 mM HEPES＋0.5 mM ピルビン酸ナトリウム、1.2 g/L NaHCO3 (Cytion article number 820400a)
懸濁培養用CHO増殖培地A（InSCREENeX社製、InSCREENeXカタログ番号INS-ME-1039）

培養雰囲気	37℃＋5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

接着性培養の場合培地に5%FBSを添加する。最終濃度が0.5 mg/mLになるようにGeneticin（G418-Sulfat）を添加する。

解離試薬	接着培養用トリプシン-EDTA

継代培養

通常の接着細胞培養の場合：付着細胞から古い培地を吸引し、 PBSで洗浄して残存培地を除去する。 PBSを吸引した後、培養容器のサイズに応じて適切な量の Trypsin/EDTA溶液を加え（例えば、T25フラスコなら1ml＋T75フラスコなら3ml）、室温または37℃で5~10分間、あるいは細胞が剥離するまでインキュベートする。顕微鏡で剥離を観察し、必要なら容器を軽くたたいて細胞を離す。いったん剥離したら、完全培地を加えてTrypsin/EDTAを失活させ、細胞を静かに再懸濁し、細胞懸濁液のアリコートを新しい培地の入った新しい培養容器に移す。容器を 37℃＋5%CO2に設定したインキュベーターに入れ、 2~3日ごとに培地を交換する。

分割比率	1~5
播種密度	2~5 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、T25フラスコに1:2~1:3の割合で細胞を分割し、少なくとも 24時間、細胞を凍結から回復させ、接着させる（接着培養の場合）。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性
マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（FBSを含む）＋10％DMSO、または回

復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含むCM-1（Cytionカタログ
番号800100）を使用している。

保管条件
長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件
凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢 アダルト

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。

詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

3 / 3